

2021年（令和3年）11月11日

保険診療委員会

I. 令和4年度診療報酬改定に関連する進捗

8月3日に行われた厚生労働省医療技術評価ヒアリングに出席し以下の3件の要望を行った

1. （ブリナツモマブ）携帯型精密輸液ポンプ加算
2. （ブリナツモマブ）在宅悪性腫瘍等患者指導管理料
3. がんゲノムプロファイリング検査のDPC包括対象からの除外

II. 安定確保医薬品の供給不足に対する意見募集

厚生労働省より安定確保医薬品の供給不足が生じた場合の診療の選択肢の提示の検討について指示があり、委員会内で検討中である。

→12月までに提出予定。

III. 医薬品の製造販売中止に対する意見募集について

1. 献血ヴェノグロブリン IH5% 静注（一部規格）および献血ポリグロビンN5 %静注並びに 10% 静注（全規格）の製造販売中止について 日本血液製剤機構より
 - (1) 献血ヴェノグロブリン IH5%（0.5g/10mL、1g/20mL、2.5g/50mL、5g/100mL、10g/200mL）→10%へ集約する。
 - (2) 献血ポリグロビンN 5 %静注並びに 10% 静注製造販売中止
→治療に支障がないと考え供給停止を委員会として了承した。

2. クリスマシンM 静注用の製造販売中止について 日本血液製剤機構より
→治療に支障がないと考え供給停止を委員会として了承した。

IV. 55年通知による適応外医薬品の保険償還の申請について

ゲムツズマブオゾガマイシン

カルボプラチン(小児脳腫瘍)

ビンブラスチン(小児脳腫瘍) に関して検討中

V. 「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」への要望の進捗

1. テモゾロミドの神経芽腫に対する効能効果追加について厚生労働省の「医療上の必

要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」へ、要望書および資料を提出した。

2. 小児の同種造血幹細胞移植の前治療、ユーイング肉腫ファミリー腫瘍及び神経芽細胞腫における自家造血幹細胞移植の前治療として、ブスルフェクス1日1回投与が、添付文書にD法として収載された。

VI. 令和4年度診療報酬改定にむけての厚労省調査依頼対応

令和4年度診療報酬改定にむけて小児入院管理料を算定している施設においての無菌治療室管理料加算の算定実績調査依頼があり、緊急調査を実施、調査結果を提供した。

VII. 開発医薬品についての推薦依頼

日本医学会経由で、「我が国で可及的速やかに適切な使用が可能となるべく医薬品の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律上の承認を受けることが望ましい、且つ医療上の必要性は高いが希少疾病に対する療法である等の開発の意義がある薬物」の推薦依頼があり、学会員より要望を募集中である。

学会HPの10月28日付のお知らせ欄に掲載の書式（別紙にて添付）にて11月30日までにお送りいただき、委員会内で検討予定。